

能を知る愉しみ
《真謡会 能楽体験講座》

『鶴亀』を謡ってみよう

■日時
H30.1月30日(火)、2月27日(火)、3月27日(火)、4月24日(火)、5月29日(火)
全5回・午前10時～11時30分 ※講師の都合で日時が変更される場合があります。

■場所(予定)
伊勢崎市境総合文化センター和室
(伊勢崎市境木島818 ☎0270-76-2222)

■定員
10名

■お話と指導
観世流能楽師 加藤 眞悟先生

■参加費
10,000円(2,000円×5回 原則として5回参加)
教材費3,950円(観世流初心謡本(上)五番綴)が別途かかります。

■持参するもの
白足袋(扇は当方で用意いたしますが、お持ちの方はご持参ください。)



加藤眞悟(かとうしんご)…昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽协会会员(重要無形文化財 能楽の保持者)。日本大学文学部哲学科卒。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年より梅若研究会例会にてシテを勤める。同年能楽養成会教程終了。各地にて能の普及に努め、海外公演にも多数参加。平成25年新作能「将門」(梅若万三郎監修、小林保治作)、26年復曲能「真田」・28年復曲能「伏木曾我」(共に梅若万三郎監修)の初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。「真謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。主な開曲「猩々乱」「石橋」「道成寺 赤頭」「砧」「望月」「安宅」「恋重荷」「卒都婆小町」(公財)梅若研究会理事、(公社)能楽協会東京支部常議員
平成29年7月いせさき教育アンバサダーに認定される。

講座内容

	お 話 (30分)	謡の実習 (30分)	型の実習 (30分)
第1回 1/30(火)	○知る愉しみ ・能の歴史	『鶴亀』1 「それ青陽の～ 夥し」マデ	『基本の型』1 カマエとハコビ サシ込ミ、ヒラキ 角取り
第2回 2/27(火)	○謡ってみよう ・謡の音律(音階と間の取り方) ・コトバの謡方	『鶴亀』2 上歌「庭の砂は～ ありがたき」マデ	『基本の型』2 左右、打込 扇の持ち方のいろいろ サシワケ
第3回 3/27(火)	○観てみよう ・能「鶴亀」の映像を鑑賞 ・鶴亀の背景と鑑賞のポイント	『鶴亀』3 ワキ「如何に奏聞～ 舞ひ給ふ」マデ	仕舞『鶴亀』1 前半部分
第4回 4/24(火)	○考えてみよう① ・能舞台について ・能の分類と夢幻能について	『鶴亀』4 「月宮殿の～ 最後マデ	仕舞『鶴亀』2 後半部分
第5回 5/29(火)	○考えてみよう② ・舞について(無と舞) ・位について(序破急)	『鶴亀』5 全体	仕舞『鶴亀』3 全体 謡と仕舞の発表

■主催/真謡会伊勢崎教室 ■後援/いせさき能実行委員会

■お申し込み・お問い合わせ(お名前・連絡先・テキストの有無を添えてお申し込みください。)

勅使川原 寛 TEL/FAX: 0270-23-8275 携帯電話: 080-4950-8724